

ボーイスカウトについてよく頂戴するご質問についてお答えいたします。

Q 1. ボーイスカウトって何ですか？

Q 2. 教育はどのような仕組みになっていますか？

Q 3. どんな人が指導者になっていますか？

Q 4. どんな活動をするのですか？

Q 5. 保護者はどの程度手伝うのですか？

Q 6. 勉強のさまたげになりませんか？

Q 7. 学校週5日制にどう取り組んでいますか？

Q 8. 活動にかかる費用はどれくらいですか？

Q 9. 「ちかい」や「おきて」で強制的な教育をするのでは？

Q 10. なぜ制服を着ているのですか？



Q 1. ボーイスカウトって何ですか？

A. 健全な青少年教育をめざした世界的な社会教育運動です。自立心ある健全な青少年を育てる、世界的な社会教育運動の一つです。少年たちの好奇心や探求心にこたえる活動を通して、心身ともにバランスの取れた人格の形成を目指しています。

Q 2. 教育はどのような仕組みになっていますか？

A. 子供たちの個性と成長を、充分考えたカリキュラムです。

異年齢の子どもが集まる小さいグループでの活動を通じて協調性と責任感を養います。また、いろいろな課目を成し遂げることによって上級に進んでいく「進級課目」と、社会や自分に役立ついろいろな技能を自分で選んで修得することによって、個性に応じた自己啓発をはかる「選択科目」あり、子どもたち一人ひとりの成長を促します。

Q 3. どんな人が指導者になっていますか？

A. 専門の訓練を受けた、ボランティアが指導しています。

ボーイスカウトの各種の訓練機関で研修を受け、指導者としての様々な技能・知識を身につけた方々が子どもたちの指導にあたっています。職業を持ちながら、仕事の都合をつけて指導のために時間をさいています。そのような方々がボランティアとして活動しています。

Q 4. どんな活動をするのですか？

A. 野外活動を中心に、いろいろなことを学びます。

野外活動を通して、自然を学び、友情や協調の精神を育てることが中心です。土曜日の午後や、休日に集まって、工作やゲーム、歌、演劇などの活動、手旗やロープなどの練習、キャンプ生活の基本を勉強します。春休みや夏休みには長期キャンプがあります。

Q 5. 保護者はどの程度手伝うのですか？

A. 隊によって、その日の活動によって様々です。

例えば、遠くへ出かけるときの引率や子どもたちの作業の補助など、必要に応じてお手伝いをお願いしています。同じ年齢の子どもをもつ保護者同士の輪が広がる良い機会となっています。自分の子どもが入隊して何度か手伝っているうちに、興味をもち指導者になった方もいます。

Q 6. 勉強のさまたげになりませんか？

A. 活動は休日の数時間、余暇を有効に活かします。

余暇時間を利用して遊びながら学ぶわけですから、勉強のさまたげにはなりません。集中力、自主性、自立心が養われ、学習面にも良

い効果があらわれるようです。活動を続けながら進学したスカウトたちの多くは、異口同音に「スカウト活動は、受験勉強中に頭をリラックスさせるのに役立った」といっています。また最近の教育界の流れとして、知識偏重の学習面だけでなく、子どもの余暇活動についても学校で積極的に評価されるようになってきています。

#### Q 7. 学校週5日制にどう取り組んでいますか？

A. 多方面からボーイスカウト活動は大いに期待されています。

学校週5日制が実施され、全国の各団・各隊が地域の子どもたちにボーイスカウト活動の楽しさを知ってもらうために体験入隊を行っています。また、他の青少年団体と連携をとりながら、地域の子どもたちにいろいろな体験活動の楽しい機会を提供しています。

#### Q 8. 活動にかかる費用はどれくらいですか？

A. できる限り少ない費用負担で活動をすすめています。

年間登録料の他に、それぞれの隊によって独自の活動のための資材費や交通費などの実費、キャンプのための積み立てなど最低限度の費用負担をいただいております。（金額や支払方法は隊によって異なります）。他の活動や習い事などと比べていただければ、少ない費用のご負担で済むことがおわかりいただけると思います。詳しくは入団時にご確認ください。

#### Q 9. 「ちかい」や「おきて」で強制的な教育をするのでは？

A. ちかいやおきては、いわばボーイスカウトの約束です。

これは一般的な教育原則です。従って校則などとはまったく違うものです。例えば、「いつも他の人々を助けます」というように「……しなければならぬ」というものではなく「……する」という、自主性にまかせるものになっています。

#### Q 10. なぜ制服を着ているのですか？

A. 制服は仲間のしるしです。

制服は、野外活動に適したウェアとして、また、仲間同士のコミュニケーションをはかるために着用しています。このスタイルは世界各国ほぼ共通で、世界のどこで会っても、この制服を見ればボーイスカウトの友だちであることがわかります。たとえ言葉は通じなくても、共通の目的を持って活動しているスカウト同士が親しくコミュニケーションできるのです。